

学校だより

2025年11月から12月までの 資格試験一覧

この期間に日専校生が取り組んだ資格・検定試験の一覧を記載する。

- 11月9日 英語検定二次（一次合格生徒）
- 12月2日 計算技術検定（2級・3級受験生徒）
- 12月13日 危険物取扱検定（選抜生徒）



社史見学(日立オリジンパーク)

1年生が社史見学
日立の歴史を学ぶ

少し肌寒い日となつた10月22日、恒例の1年生社史見学会を実施した。今年度も日立オリジンパーク・熊野神社・日鉄記念館を2班に分かれて見学した。

考動アクション委員会 主体的な行動を実践

2年電気科1組 後藤 洋平

(考動アクション委員長)

この度、日専校のリーダーとして考動アクション委員長を務めることになりました後藤洸平です。各委員会の所からの期待に応える責任感という二つの思いを力に変え、全生徒を導くリーダーとして尽力いたします。主な活動として、考動アクション委員会の内部組織（学校・寮・部活動委員会）の活動を共有し、他委員会からの意見を収集します。そして、最終的な目標を「事業所から信頼される人財になること」と明確化し、それを達成するための具体的な手段を策定し全校に展開開催

します。具体的には、学校委員会がクラブ活動の改善を、部活動委員会が問題解決のための改善案策定をそれぞれ対応をいたしました。また、熊野神社で参拝に加え、御札まで頂戴し、大変印象に残る参拝となつた。今回も各見学場所でクイズが出題されたが、生徒はみな100点満点をめざし興味を持つて見学に臨んでいた。加えて事前学習した日立100問100答の文言が随所で現れ、実際に残らを確認することで、より深く社史を身につけることができた。今後も日立製作所と日専校の歴史を実地で学べる社史見学会を貴重な機会と位づけ継続実施していく。

考動アクション委員会を通じ、全生徒の人間力を養い、委員会のメンバーと共に日専校をより良いものにするため、誠心誠意努めます。



考動アクション委員会

11月8日、恵まれた天候の中、日専祭・保護者会を実施した。朝から日専校の代名詞とも言える実習授業にて、1年生の真剣に学ぶ姿をご覧いただけました。後、体育館にて校長のあいさつや諸



日専祭(日専校どらやき販売)

私は考動アクション委員会委員長、2年溶接科の野口颶です。今まで初めて本格的に運営を行う行事であり、やる気に満ち溢れていました。しかし、実際には思うようにいかないこともあります。特に午前の企画では、保護者の方々も楽しめる案にならなかったり、頭を悩ませました。決して遅れから情報の展開も遅くなり、各部活の準備時間を十分に確保できなくなりました。一方で、本番ではどの部活も非常にクオリティが高く、生徒はもちろん、先生方や保護者の方々にも楽しんでいただけたと感じています。運営面では情報共有の曖昧さから連携不足が生じる場面もありましたが、この失敗を通して、メモを取ることの重要性や、正確に情報を処理・伝達する力の必要性を強く再認識しました。日専祭を通して、改めて自分が学校のリーダーであるという重みを実感しました。



日専祭(部活ごとにステージ発表)

(13頁の続き)

この経験と反省を糧に、これから学校の明るい未来のために尽力していかたいと思います。

1年生が安全体感教育受講

10月から11月にわたり、日立事業センターにおいて、1年生75名全員が6グループに分かれて安全体感教育を受講した。

研修では、安全の概要説明および災害事例の紹介に続き、生徒にとって初めてとなる体感装置・VRを用いた危険体感を実施した。これら的内容は、学校の授業や実習では得難い災害の危険性を実感させるものであり、生徒の安全意識の高揚および危険感受性の向上に寄与した。

1年1組 芳賀 聖華

安全体感教育



教育訓練センター内の安全体感センターにおいて、1年生75名全員が6グループに分かれて安全体感教育を受講した。研修では、安全の概要説明およ

び災害事例の紹介に続き、生徒にとって初めてとなる体感装置・VRを用いた危険体感を実施した。これら的内容は、学校の授業や実習では得難い災害の危険性を実感させるものであり、生徒の安全意識の高揚および危険感受性の向上に寄与した。

2026年度入学試験

12月4日、5日の両日、2026年

度生の入学試験を県内2箇所(本校、つくば市)、青森県(青森市)、東京都(大田区)、山口県(下松市)の5会場

で得たことを今後の実習や将来の業務に活かし、安全を最優先とする行動を徹底していくたいと思います。

安全体感講習会を受講して、日頃か

ら日専校で学び実践している安全行動が実際の工場においても重要視され、日々実行されていることを知ることができました。現場では質の高いRKYが実行されており、危険度を可視化して具体的な対策でリスクを下げようとする工夫や、それでも「危険はゼロ」

寮避難訓練を実施

寮生の確保に苦戦している。今後も日専校の魅力を幅広く発信し、生徒募集活動を展開、受験生の増員を期待している。同窓会員の皆様には、引き続きお知り合いの方々に日専校の紹介をお願いしたい。



寮避難訓練

第56回日専校マラソン大会

例年、マラソン大会に備え、事前約1週間、平日の朝の授業前に、学校グラウンドで「耐寒ランニング」を実施している。今年度も12月12日から体育委員のリードにより、全校生徒がラジオ体操、日専校体操の後、グラウンド周辺を走った。その他、体育の授業や部活動でも、この時期はランニングの練習を行っていた。そして、「第56回日専校マラソン大会」を12月19日、

晴天の下、ひたち海浜公園にて開催した。生徒たちは元気に園内を駆け抜け、



耐寒ランニング

12月11日、本年度2回目となる避難訓練を実施した。前回は授業中の災害発生を想定した校舎・実習場からの避難であったが、今回は生活の場である寮からの避難に焦点をあてた。本訓練の目的は、緊急事態において教職員および生徒が安全かつ迅速に避難できるよう備えを万全にする事にある。今回

は、電気科1組の後藤洸平さん、女子個人の部は2年電気科1組の根元優衣奈さんが優勝となつた。また、クラス対抗は2年電気科1組、部活対抗はバスケットボール部が、それぞれ優勝した。生徒たちはクラスの枠を超えて応援する姿や健闘を称え合う姿があり、心温まる気持ちで終えることができた。

大会結果

● 部活動対抗 ①バスケットボール部 ②陸上長距離部 ③サッカーネット
● クラス対抗 ①2年電気科1組
②2年電気科2組 ③2年機溶科
● 男子個人【10キロ】 ①後藤洸平(2年電気科1組)
②黒澤柚稀(2年電気科2組)
③渡部眞生(2年電気科1組)

● 女子個人【5キロ】
①根元優衣奈(2年電気科1組)



マラソン大会(国営ひたち海浜公園)